

お客様への メッセージ

2012 10 月号

Contents

- ◎ 長期投資仲間へのメッセージ vol.67
『初志に還る時』
セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓
- ◎ ゲストからの応援メッセージ
『バランス型投信は魅力的か? ~分散投資は本当に重要か?~』
イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社
チーフ・インベストメント・オフィサー 小松原幸明氏
- ◎ セミナー・イベント情報
・定年までにいくらあれば生きていけるか(東京・渋谷)
~いま知っておきたい「資産運用」と「年金」のこと~
・東証主催!「+YOUニッポン応援全国キャラバン」
- ◎ セゾン投信からのお知らせ
・メディア掲載情報
日経新聞夕刊《投信ウォッチ》、日経新聞朝刊《M&I欄》
・買付・解約 受付不可日お知らせ
- ◎ お客様データ
・口座数 & 年代別構成比
・今月の注目数値:「44」
- ◎ セゾン投信の素顔
メンバーが感じる日々の雑感

発行 セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会 社団法人投資信託協会
お問合せ先 セゾン投信お客様窓口 ☎03-3988-8668(受付時間9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)
<http://www.saison-am.co.jp>



■この資料は、セゾン投信の役員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



長期投資仲間へのメッセージ Vol.67

「初志に還る時」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

リーマンショックから4年

2008年9月15日、米大手投資銀行リーマンブラザーズが突然倒産し、それをきっかけに金融市場は大パニックとなり、世界中の金融システムが凍り付いて機能不全に陥る金融危機に進展。この間に私たちは世界の株式市場がざっと6割もの急落をする体験をしたのです。あれから4年が経ちました。その後もユーロ危機をはじめ市場を揺るがす事象が起りましたが、冷静に振り返れば世界の株式市場は2年でリーマンショック前の水準を取り戻し、米国株式はじわりじわりと上昇を続け史上最高値を更新。そしてリーマン後の世界経済の回復を主導した新興国経済は、その規模で先進国経済と比肩するまでにこの4年間急成長を続けてきました。

市場という生き物はいつも行き過ぎるものです。ゲームにおぼれた投機家たちはリーマンショックで厳しい洗礼を浴びました。そしてその報いは百年に1度と言われる大暴落を招きましたが、以後世界マネーは確かにリスクに過敏になっているといえるでしょう。

何か想定外のことが起きるたび、リーマンショック再来とばかり資金がリスクオフへと一方的に逆流する。百年に一度があたかも毎年起きるかの如き恐怖からプロの機関投資家マネーでさえ解き放たれることがかなわず、メディアの報道もそれに呼応して実体経済の活動を省みぬ、悲観論が払拭されない4年間だったのではないのでしょうか。

もう経済成長しない？

デフレ脱却がおぼつかない日本は言わずもがな、ユーロ危機渦中の欧州では雇用が伸びず、消費が盛り上がりぬ米国でも、安定的景気回復軌道が描けずに腐心が続いています。加えて急成長を実現してきたBRICs新興大国たちも高度成長の踊り場に入り、経済成長を前提とする資本主義へさえ否定的な論調がはびこっています。もはや成長時代は終わった、縮小・衰退のゼロサム経済を前提とするパラダイムシフト、など観念的な悲観主義の台頭は、グローバリゼーションという人類史上の劇的転換を悉く（ことごとく）軽視しているのではないのでしょうか。

グローバリゼーションの歴史的意義とは、地球上で経済成長を知る人たちがどんどんと増え続けることにあります。成長と無縁だったかつての後進国の人々が豊かさを求めて動き出す機会が増大し続ける！新しいものを買ひ、便利さを手に入れる喜びに地球経済は今や満ち溢れています。世界経済が発展・成長を本格化させるのはむしろこれからなのです。

やれやれ売り

リーマンショックの大暴落を経験し、その後の激しくリスクへの過剰反応を繰り返す投機マネーの動向を見て、メディアが煽動する暗澹たる悲観情報の波に呑み込まれるように、我が国生活者のお金は預貯金への逆流を続けています。流行りもののテーマ型投信でヤケドを負ったお金はいざ知らず、将来に向けて経済にゆったりと働きに出したはずの長期投資家の中にも、忍耐しきれなくなって長期投資マネ

一を再びゼロ金利の預金に戻してしまう方が残念ながら少なくありません。しかもその中の多くの方が、ご自分の損益がやっとプラスに転じたところで投資をやめてしまう。確かに明るい未来を信じられないなら、長期投資は続けることができません。リーマン後のマネーの動揺がメディアの悲観一辺倒な報道が、多くの生活者を恐怖に追い込んでいるのでしょう。

しかしリスクオフとなれば一目散に逃避するプロ筋マネーとは違って、買値の呪縛にとらわれている個人投資家の資金は、市場がリスクオンに変わろうかという戻り局面の入り口で投資から降りてしまう、こうした行動はまさに相場に踊らされて翻弄される姿なのだと気付かなくてははいけません。

ビッグピクチャー

販売会社に勧められるまま、儲けてやろうと色気を出して、テーマ型ファンドの買っては売りを繰り返している人たちを横目に、時間という養分を糧にゆったりのんびり気分で長期投資を始めたはずが、リーマンショック以降のたった4年で初志が揺らいでいませんか？長期投資の目的は将来に向けた資産育成だったはずです。目先の相場がだれているのは将来受け取るべき果実とは無関係、というよりむしろしっかりと仕込みが行える機会でもあるのです。

相場はガラガラマネーの欲望と感情が渦巻く場所であって大事なものは実体経済の成長です！そして実体経済は私たち生活者の集積、グローバル化の成長軌道の大河は何も変わっていないことを改めて感じていただきたい、それがビッグピクチャーを持つという事です。

私たち長期投資家は、長期投資マネーを通じて滔々たる地球経済の成長の流れを支え、それゆえに成長から将来の果実を得られるのです。次世代を明るい将来とする強い意志を持って長期投資家は自ら経済行動に参加していることを再認識いたしましょう。

(2012年10月2日記)

ゲストからの応援メッセージ

「バランス型投信は魅力的か？ ～分散投資は本当に重要か？～」

イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社
チーフ・インベストメント・オフィサー
小松原 幸明 氏



セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドやeMAXISバランス、マネックス資産設計ファンドなど販売手数料、信託報酬が安いバランス型投信をコア資産、個別投信・銘柄をサテライト資産とし、コア&サテライト戦略で自分に合った資産配分（アセット・アロケーション）を構築し、長期分散投資を心掛けることが個人投資にとっての王道ではないでしょうか。

分散投資は本当に重要か？

ただ、よく耳にする分散投資。本当に重要なのでしょうか？

実は投資のタイミングでリターンを狙う場合、値上がり・値下がりする資産を予想しているわけですから分散投資は不要です。一方、資産全体の損失率や価格変動リスクの抑制などリスク管理を行いつつ、長期的な観点でリターンを獲得しようと思ったら、分散投資は重要になります。

将来のリターンをコントロールすることはプロの運用機関でも困難なことです、価格変動リスクを

分散投資によってコントロールすることは、個人投資家にとっても難しいことではありません。

よく耳にされると思いますが、「すべての卵をひとつの籠（かご）に盛るな」という諺（ことわざ）があります。投資の世界においては、分散投資の重要性にたとえられています。卵とはお金です。では籠とは何でしょうか？個別銘柄やファンドではありません。籠とは株式や債券などの資産クラスのことを意味しています。お金（卵）を複数の異なる資産クラス（籠）に分散してリスクに備えることが重要なのです。例えば、ファンドを運用する投資信託会社やファンドを購入する証券会社をいくら分散しても、ファンドの投資対象が全て外国債券であれば分散投資をしたことになりません。これでは、全ての保有資産が円高リスクや海外金利の上昇リスクにさらされることとなります。

分散投資の意義は、リターンの追求ではなく、リスクの低減効果にあるのです。

2002年にノーベル経済学賞を受賞したダニエル・カーネマンは、「利益による喜び」より、「損失による悔しさ」の方が大きいことを実証し、プロスペクト理論としてまとめました。この研究成果からも、投資においてリターンを追求する以上に、損失を抑えること、つまりリスクを回避することが大切なことだとわかります。

【図表1】は、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券ならびに、これら4つの資産を均等に保有したポートフォリオの資産額の推移を示したものです。各資産（特に内外の株式）の資産額は大きく変動していましたが、4資産分散ポートフォリオは、各資産の動きが相殺されることにより、日本株式、外国株式など単一の資産よりも価格変動性が低かったことがわかります。

このように、価格変動の異なる複数の資産を組み合わせる分散投資は、価格変動リスクや最大下落率の低減など損失を抑える効果があり、安定的な投資成果を望む場合の効果的な投資手法となるわけです。

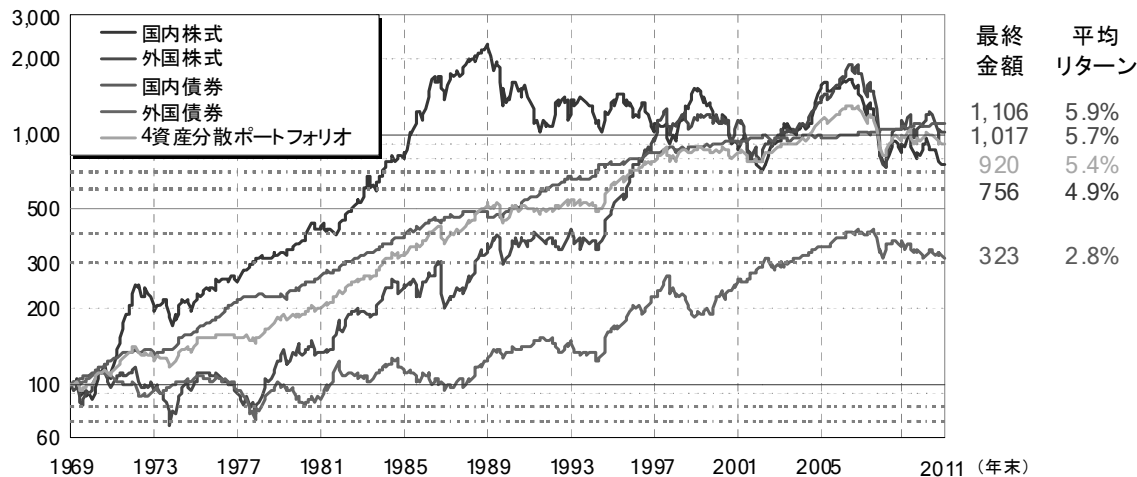
自分に合った資産配分（アセット・アロケーション）

では分散投資をするといっても、どのように資産配分したらよいのでしょうか？その答えは、投資家一人ひとり異なります。大事なことは、どのファンドを購入しようか？どの銘柄がいいか？と迷う前に、長期的な観点で資産クラスのリターン・リスクを予想し、「どの資産クラスに、どれくらい配分するか」という基本資産配分をしっかりと決めることです。ポイントは、投資できる期間や、損失が出た時にどれだけ我慢できるか、といった自分の忍耐力を再認識することです。ポートフォリオのリスク（標準偏差）水準の概ね2倍が年間の最大損失率になることを目安にするといいでしょう。一時的に40%以上の値下がりにも耐えることが出来るならば、長期的には高い運用成果が期待できる株式中心のポートフォリオを選択することができるでしょう。一方、短期間であってもなるべく値下がり避けたい場合は、長期的に高い運用成果を期待できないかもしれませんが、債券中心のポートフォリオを選択した方がよいでしょう。

「敵を知り己を知れば百戦危うからず」ということわざがあります。資産運用においても当てはまり、投資信託など金融商品のリスク・リターン特性を理解した上で、自分はどの程度の損失に耐えられるかを再認識し、長く付き合える自分に合った資産配分をコア&サテライト戦略で構築するが投資の第一歩となります。

【図表 1】

4資産分散ポートフォリオの推移
1969/12-2011/12



※1969年12月末に100円を投資した場合の資産価値の推移を示しています。

＜出所＞ 国内株式:東証一部時価総額加重平均収益率(円ベース)、外国株式:MSCIコクサイ(クロス、円ベース)、国内債券:野村BP総合
外国債券:1984年12月以前はイボットソン・アソシエーツ・ジャパン外国債券ポートフォリオ(円ベース)、1985年1月以降はシティグループ世界国債(除く日本、円ベース)
4資産分散ポートフォリオ:国内株式、外国株式、国内債券、外国債券の4資産に25%ずつ投資したポートフォリオ。毎月末リバランス。

本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。
本資料はイボットソン・アソシエーツ・ジャパン株式会社の著作物です。イボットソン・アソシエーツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の
罰則の対象となります。

Copyright ©2012 Ibbotson Associates Japan, Inc.

ibbotson

*グラフの折れ線について；期間中の平均リターン順に上から国内債券、外国株式、4資産分散ポートフォリオ、国内株式、外国債券

＜プロフィール＞

小松原 幸明 (こまつばら ただあき)

イボットソン・アソシエーツ・ジャパン株式会社 チーフ・インベストメント・オフィサー
www.ibbotson.co.jp

(社)日本証券アナリスト協会検定会員。日本アクチュアリー会準会員。MPTフォーラム幹事。
1987年慶應義塾大学理工学部卒業、日本長期信用銀行入行。長銀投資顧問システム運用部ファンドマネ
ジャー、UBSアセットマネジメント国内株式ポートフォリオ・マネジャーを経て、2000年11月イボット
ソン・アソシエーツ・ジャパンを共同設立。設立以来10年以上にわたり、コンサルティング業務、投資
助言業務など当社業務全般を統括する。

著書、論文は『ポリシー・アセットアロケーションの重要性』証券アナリストジャーナル2008年9月号
(第20回証券アナリストジャーナル賞受賞)、『債券の期待リターンの推計—実証分析と将来シミュレ
ーション—』(日本ファイナンス学会第12回大会予稿集)、『ポートフォリオ・マネジメント・プロセス』(共
著、証券アナリスト第1次レベル通信教育講座テキスト)、『投資信託は運用会社で選べ!』(共著、ユナ
イテッド・ブックス)など多数。

セミナー・イベント情報

当社主催、共催セミナーのスケジュール <セミナーレベル ★:入門 ★★:初級 ★★★:中級>

【東京】渋谷		定年までにいくらあれば生きていけるか ～ いま知っておきたい「資産運用」と「年金」のこと～		
★	10月14日(日) 13:30～15:45	TKP渋谷 カンファレンスセンター7A	参加費 1000円※	井戸 美枝氏(ファイナンシャルプランナー) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
<p>※e-プラスでチケットをお買い求めください。</p> <p>井戸美枝さん、中野晴啓の共著「定年までにいくらあれば生きていけるか」の内容に基づき、年金支給額がどれくらいで、月々の生活費がどれくらいか、結局、老後の資金はいくら必要なのか？を具体的ケースをあげながら解説。</p> <p>将来の年金支給額と生活費のギャップを埋めるため、預貯金だけでは何故だめなのかを時代背景を紐解きながら今から始める資産育成の必要性を解説します。</p> <p>10年後・20年後・30年後の将来の自分をイメージしながら参加いただきたいセミナーです。</p> <p>今回は井戸美枝さん、社長中野のサイン入り「定年までにいくらあれば生きていけるか」を参考書籍としてご用意しております。</p>				
【東京】品川		山手線ワンコインゼミナール IN 品川 「初心者マークのゼロから学ぶ長期投資」		
★	10月18日(木) 19:00～20:45	AP品川 E会議室	参加費 500円	草食投資隊/ 渋谷 健氏(コモンズ投信会長) 藤野 英人氏(レオス・キャピタルワークス取締役CIO) 中野 晴啓(セゾン投信社長) ファシリテーター/岩城 みずほ氏(オフィスベネフィット代表)
<p>投資入門者を対象とし、山手線主要駅を巡る「山手線ワンコインゼミナール」。</p> <p>今年4月、「池袋」を皮切りに「新宿」「渋谷」と巡ってきましたが、第4回目は『品川』で開催いたします。</p> <p>今回のテーマは「初心者マークのゼロから学ぶ長期投資」</p> <p>投資なんてしたことない！でもちょっと気になる。投資なんてなんだかブラックなイメージなんだけど・・・。</p> <p>でも、やっぱり途中で損している気がするんだけど・・・ 等々</p> <p>こんなこと聞いたら恥ずかしいかも・・・なんて思わず、どしどしご質問をお寄せください。</p> <p>今回は事前に皆様からのご質問を受付し、講師の方々から当日説明させていただきます。ご質問は応募フォームの「事前質問欄」にご記入ください。</p>				
【東京】青山		【女性限定】青山キャリア塾 2012(全6回) モヤモヤ女子からスッキリ女子へ！		
★	10月24日(水) 19:00～21:45	アーキテクト カフェ青山	参加費 3,500円※ (懇親会代 含みます)	山口 佐知子氏(All About 恋愛ガイド) 高山 一恵氏(FP ウーマン取締役) 中野 晴啓(セゾン投信社長) 田中 美和氏(キャリアカウンセラー)
<p>※e-プラスでチケットをお買い求めください。</p> <p>エプシーウーマン取締役の高山一恵さんとセゾン投信社長中野晴啓のコラボに、強力な助っ人として、元「日経 WOMAN」編集者でWomen's Career 代表田中美和さんをメンバーに加え、毎月1回、全6回の連続セミナー形式で多彩なゲストをお招きして開催していきます。</p> <p>第2回のテーマは、愛&結婚のモヤモヤをすっきりさせよう「働き女子の幸せな恋愛&結婚のルール」です。</p> <p>陥りがちなお金や仕事、恋愛や健康などの不安をテーマに、各分野のスペシャリストと、みなさんのモヤモヤをスッキリ解決していきます。</p> <p>終了後の懇親会では女子会気分ワイワイ楽しく盛り上がるので、お友達の輪が広がること請け合いです！</p>				

【東京】池袋		「ゼロからはじめる投資のキホン」～投資の初心者さん限定～		
	10月25日(木) 19:00～20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	瀬下 哲雄 (セゾン投信運用部ポトフォリオマネージャー)
★	毎回、人気のセミナーです。申し込みはお早めに！投資をはじめる前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。少人数でアットホームなセミナーですから、日頃なかなか聞けない基本的なことでも結構です。皆様からの質問にしっかりお応えいたします。			

詳細・お申込みは、ホームページ「セミナー情報」をご覧ください

<http://www.saison-am.co.jp/seminar/seminar.html>

お電話でのお問合せ セゾン投信お客様窓口

03-3988-8668(9:00～17:00/土日祝、年末年始を除く)



東証主催！「+YOUニッポン応援全国キャラバン」に参加しています。

+YOU

一人ひとりがニッポン経済

東証主催のニッポン経済が再び元気を取り戻せるよう、これまで経済や投資に関心のない方々にも投資の意義を知っていただき、その魅力にふれていただくセミナー(全国47都道府県)にセゾン投信社長中野が参加します！

10月～12月の日程が決定しました。お住まいの近くで開催の際には、ぜひご参加ください。(入場無料)

本イベント開始時からこれ月までの開催レポートは、東証「+YOU」特設サイトをご覧ください。

<http://www.tse.or.jp/plusyou/index.html>

※主催者の都合で日程、場所の変更、また開催の延期や見送る場合がございますので、予めご了承ください。

セゾン投信からのお知らせ

W.マイナビ ニュース



ライフ

にて、好評連載中！

セゾン投信、中野社長の半世紀－「お金」に興味を持つという事

<http://news.mynavi.jp/column/nakano/018/index.html>

最新の第18話では、9月初旬に提携先の米国バンガード本社を訪問してきた社長中野の想い。

--「米金融業の懐の深さと日本との違い実感」をお伝えします。

※ メディア掲載情報

- ・2012.9.4 日経新聞夕刊、《投信ウォッチ》「セゾン資産形成の達人ファンド」が「65か月連続で資金流入超」。
- ・2012.9.26 日経新聞朝刊、《M&I欄》「直販投信コソコソ」とに主な直販投信。

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】 (2012年10月3日～11月末日)

下記は2012年10月3日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。

当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

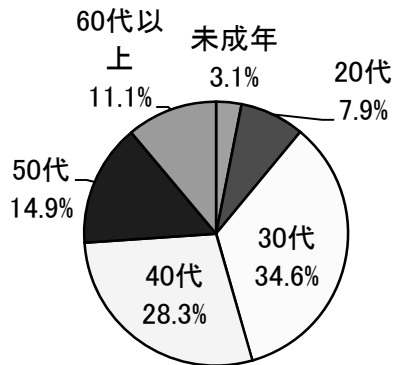
セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	10月29日(月)、11月12日(月)、11月22日(木)
セゾン資産形成の達人ファンド	10月29日(月)、11月12日(月)、11月22日(木)

上記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

お客さまデータ

セゾン投信 会員数 52,914 口座
(2012年9月28日現在)

年代別比率



※2012年9月28日現在

今月の注目数字！『44』

今月の数字は、44。この数字、日頃皆様にはあまり目に留まることのない、投資信託会社78社の中での最新発表のセゾン投信の純資産預かり残高の順位です。

まだまだ、そこそこ。と、ご指摘をいただく数値ではございますが、設定6年目の直販会社としては、中庸と思ひ、皆様よりお預かりしている資産を大切に、また更に新たなお客様からの仲間入りを働きかけるように心がけ、より多くの資金をお預かりできるよう社員一同、頑張ってお参りたいと思っております

セゾン投信の素顔

「秋の楽しみ」

日増しに寒さが増し、すっかり秋を感じる季節になりました。季節の変わり目に、風邪などひいていませんか？職場の環境も変わるこの時期、セゾン投信も新たなメンバーを迎え下期を迎えました。

そんなこの季節、毎年楽しみにしていることがあります。それは大学時代の友人たちと秘湯に行くことです。全国には協会の認定を受けた趣のある温泉がたくさんあり、良質のお湯と情緒に浸ることができます。友人たちとは住んでいる場所も仕事も様々で休みを合わせるなかなか難しいですが、今年はどこに行けるか今から楽しみに仕事を頑張ります。

管理部 山崎結衣



「スカイツリー」

墨田区にスカイツリーが開業して4か月が過ぎました。あまりの人出の多さに地元住民としては少々複雑な気持ちもありますが近隣が活性化するのはやはり喜ばしいことです。真下から見上げる634メートルはやはり圧巻で、夜ライトアップされたその姿は美しい、の一言です。ともすれば足元ばかり見がちな日中ですがせめて夜だけは上を見上げて歩こうと思います。

コンプライアンス部 稲富佳子

編集後記

9月後半から日本列島は大型の台風の通り道となり、沖縄、九州を中心に大きな被害に遭遇された方々に心よりお見舞い申し上げます。

都内は台風一過、10月に入り急に秋風を感じる今日この頃ですが、隣国の中国や韓国との国境での諍いや、いまだ解決の糸口が見えない原発政策など、世間では熱気を帯びた話題に事欠きません。こうした状況下、不安定な金融市場の環境を逃げ出すわけには参りませんが、日々コツコツと長期を見据えて業務に努めて参りたいと思っております。

「豊饒の秋」食に対する欲求が満たされる細やかながら1年の中で最も楽しみな毎日が到来します。